



委員会レポート

ハード・ソフトの両面でさらなる防災対策の強化を

調査研究テーマ 「自治体における防災・減災対策について」



倉敷市での行政視察の様子

総務産業 常任委員会

令和4年8月4日の大雨により、能美市内で甚大な被害を受けたことを課題と捉え、水害に対する防災・減災の取り組みを進めていく上での一助として調査研究を行った。市内の被災地を視察したほか、今後の地域防災計画や防災教育について学ぶため、岡山県倉敷市・岡山市、京都府福知山市への行政視察を行った。

市に提言

- ① 関係機関との連携を密に河川改修工事の早期完了を図れ。
- ② 浸水想定区域に住む市民も安心に暮らせるまちづくりを。
- ③ 地域と防災士との連携強化を図り、地域の防災力を高めよ。
- ④ 避難情報伝達として公式 LINE などのさらなる活用を。
- ⑤ デジタル技術を活用し、情報伝達をより迅速に行うこと。

教育福祉 常任委員会

地域共生社会の実現には 条例の制定が必要

調査研究テーマ 「地域共生社会の実現に向けて」

能美市では地域共生社会の実現を目指しており、条例の制定などをどのように進めるべきか議会としても検討するため、2年にわたって調査研究を行った。先進事例として愛知県豊田市、兵庫県明石市の行政視察を行ったほか、障がい者や外国人の声を聴くため、市内の(株)東振精機や日本語教室などを訪れた。



(株)東振精機で工場案内を受けている様子

市に提言

- ① 市の理念を盛り込んだ条例の制定が望まれる。
- ② 行政においては部課横断の全庁的な取り組みが必要。
- ③ 地域共生社会を理解できる冊子などを作成すると効果的。
- ④ 交流スペースの機能拡充と市民が集まれる場所の開放を。
- ⑤ 災害時に取り残される要配慮者がいないよう対応を。

今回は所管事務調査と行政視察の内容をお伝えします。現状や課題を調査研究し、市への提言や議会運営の強化につなげます。

紙面で何を伝えたいか 議員同士の議論を深める

視察先・テーマ 埼玉県寄居町議会：議会広報紙について
長野県佐久市議会：議会広報紙モニター制度について



寄居町議会と意見交換をしている様子

所感

議会広報紙は市民と議会をつなぐ大切なツールであることをあらためて実感。毎号「何を伝えるのか」を議員同士で議論して明確にした上で、議会独自の視点や市民の顔や生の声を掲載するなど、さらなる工夫やアイデアが必要と感じた。

広報広聴 特別委員会

令和5年5月に全面リニューアルした議会だよりをさらに「読まれる広報紙」とするため、町村議会広報全国コンクールで5度も全国1位を受賞されている寄居町議会、市民の声を紙面に活かすためのモニター制度を導入している佐久市議会の行政視察を行った。
(視察日：令和5年7月24日・25日)

各委員会の報告書を議会ホームページで公開しています。
詳細を知りたい方は、下記QRコードからアクセスしてみてください。



基地対策 特別委員会

ロシアのウクライナ侵攻以来、アジアでも東シナ海・日本海での中国、ロシア、北朝鮮の動きが活発化している。今後の航空自衛隊の動きを日本海側の国防の観点から研修するため、小松基地と同じく日本海側に位置する福岡県内の航空自衛隊基地の行政視察を行った。
(視察日：令和5年7月27日・28日)

小松基地の存在意義を もっと市民に伝えるべき

視察先・テーマ 福岡県築城基地：今後の航空自衛隊の動きについて
福岡県芦屋基地



芦屋基地で説明を受けている様子

所感

築城基地では今後、アメリカ軍の駐機基地や滑走路延伸の計画があり、地元への理解や協力を得るなど日本の国防のために前進されるとのこと。地元小松基地の活動実績や存在意義をもっと伝えていくべきと感じた。